

どうぶつも 生きて いるのだから

32 キリンの みなみ

「みなみ、みなみ。」

朝^{あさ}、やって きた しいくいんが 大声^{おおこえ}で さげびました。

キリンの みなみが たおれ、つめたく なって いたからです。みなみは、夜の^{よる} うちに とつぜん しんで しまいました。

やさしい 大きな 目が あいらしい みなみは、どうぶつ園^{えん}の 人気^{にんき}も のでした。みなみの おなかには 赤ちゃんも いました。みなみは、おかあさんに なる ことが できないまま しんで しまったのです。

「どうして こんな ことに。」

だれもが おどろき、かなしみました。

どうぶつ園^{えん}は、原^{げん}いんを しらべました。

すると、みなみの いぶくろから

ビニールの かたまりが

見つかりました。これが、

みなみの いを ふさいで

しまったのです。

キリンの ように 草を

食^たべる どうぶつは、あじより

も 口^{くち}当たりの よい ものを

食^たべる くせが あります。

そのため、みなみは、まちがって

ビニールを 食^たべたのでしよう。

それが、何^{なん}回^{かい}も くりかえされ、

ビニールが おなかで かたまっ

しまったのでした。

みなみの いの 中から 出て きた ビニールは、

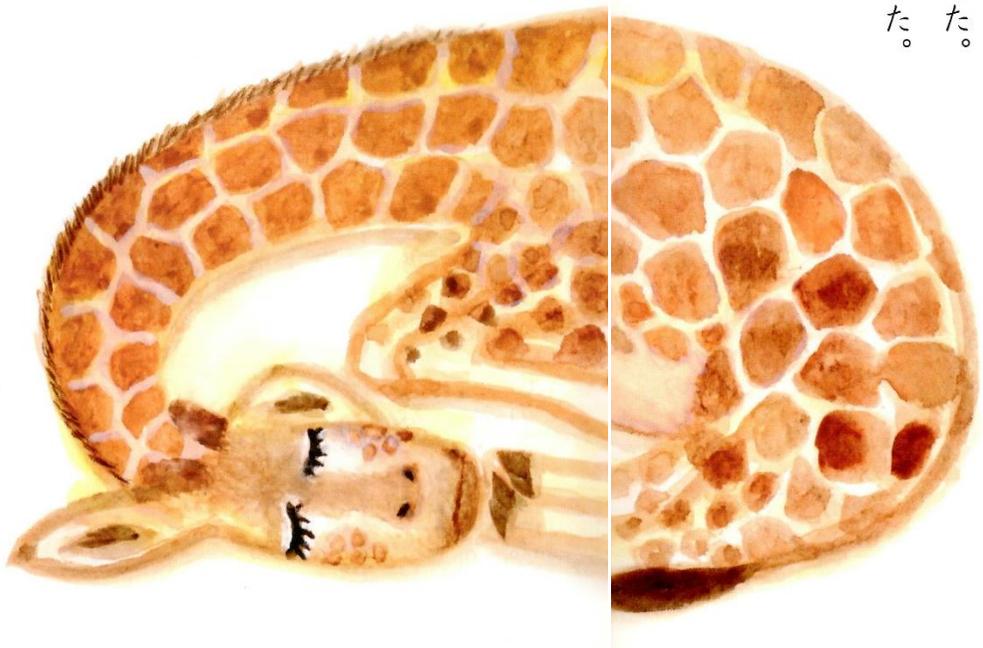
おもさが 三キログラムも あったそうです。みなみが 食^たべた ビニールは、

一まいや 二まいでは なかった ことが 分^わかります。どうぶつ園^{えん}に 来^きた

人^{ひと}たちが、すてて いった おべん当^{とう}の ふくろや おかしの つつみ紙^{がみ}。

ひとりひとりの なにげない ルールいはんが、みなみと みなみの

赤ちゃんの いのちを うばって しまったのです。



「かわいそうに、みなみの 首^{くび}すじには、もがきくるしんだような
たくさん の きずあとが あったんだよ。」
この ニュースを おとうさんから 聞^きいた 小^{しょう}学^{がく}生^{せい}の みおちゃんは、
とても かなしく なり、ないて しまいました。
「みなみが 教^{おし}えて くれた ことを
わすれては いけないよ。」
おとうさんの ことばに、みおちゃんは
なきながら うなずきました。



考えよう 話し合おう

- ニュースを 聞^きいた みおちゃんは、どんな ことが かなしく なったので しょう。
- どうぶつ の いのちを 大^{たい}切^{せつ}に する ために、どう すれば よいのでしょうか。

へかんがえたこと・おうちの人とはなしあったことをかきましよう。く

A large rectangular area with a black border, containing ten vertical dashed lines for writing.